

プロジェクト演習 課題提案のお願い

広島市立大学大学院情報科学研究科では、地域の企業や自治体の皆様と連携して、地域に根ざした人材の育成を目指す「産学連携教育¹」プログラムを用意しています。その教育プログラムのひとつに「プロジェクト演習」があります。この科目「プロジェクト演習」は、地域の企業や自治体の皆様から提案された課題をもとに（あるいはその課題をヒントにして）、学生が自らゴールを設定し、仲間と協力しながらプロジェクトとして実施するものです。地域企業・自治体の皆様にはその課題の提案をお願いしています。ぜひご協力ください。

ご提案いただく課題について

皆様からご提案いただく課題は、情報科学部・情報科学研究科で学ぶ知識や技術による解決が期待できるものであれば、何であっても構いません。まずは、現場（企業・自治体）における課題をご提案ください。提案していただいた課題に興味を持った学生が、ご提案いただいた方（提案者）と協議をしながら到達可能なゴールを設定します（協議やゴール設定なども、演習の一部です）ので、お気軽にご提案ください。

プロジェクトのゴール設定

上述のとおり、学生は提案者と協議をしながらプロジェクトのゴールを設定しますので、ご提案をいただく時点ではその課題が大きなもの、抽象度の高いものであっても構いません。設定するゴールと提案者との関係として次のような形が考えられます。

ケース1（業務を理解する）：企業や自治体の実際の事業内容をご紹介いただき、それを参考にして自らゴールを設定する。提案者にはプロジェクト進捗に応じて助言をしてもらう。

ケース2（業務課題の解決を体験する）：企業や自治体が解決したい課題に対して、その一部あるいは、それに類似の課題の解決をゴールとして設定する。プロジェクトの成果が提案者にとって有用となることを期待して取り組む。

ケース3（業務課題の解決に取り組む）：企業や自治体の具体的な業務の一部を課題として切り出し、具体的な解決策提案・成果をゴールとして設定する。成果物は企業・自治体に還元することが前提となる。

¹ <https://www.hiroshima-cu.ac.jp/service/sangaku-edu/>

プロジェクトの構成

1つのプロジェクト・チームは、2名または3名の情報科学研究科博士前期課程の学生からなります。協力者として、情報科学研究科以外の学生（他学部研究科の学生、情報科学部の学生など）が加わることがあります。プロジェクトは、基本的に学生と提案者が協議しながら進めます。また、情報科学研究科の教員がアドバイザーとなり、プロジェクトの進捗状況や学生の活動負担等を確認・管理します。

スケジュールの概要（2027年度）

2027年度のプロジェクト演習のスケジュールは以下のとおりです。ただし、ここに示すものは大まかな流れであり、各項目の時期は多少前後することがあります。

皆様から課題をご提案いただいたあと、マッチングセッションにて、ご提案の内容をプロジェクト演習履修希望者（原則として、博士前期課程の学生全員）にご説明いただきます。学生はご提案いただいた内容を各自でも調査した上で、自分の希望する課題に取り組みます。その後、提案者と協議を進めながらゴール設定、計画の策定を行います。プロジェクト開始後も適宜、提案者と相談・協議を進めながらプロジェクトを進めていきます。最終的には報告会でその成果を発表します。

プロジェクト演習（通年集中開講）

4月 5月	ガイダンス・マッチング： 提案者による課題説明、 課題調査		10月	中間評価に基づく計画等の再設計	
6月	プロジェクト計画：提案者との協議、 到達目標の設定、実施計画の策定		11月	プロジェクト実施	
7月	プロジェクト開始・実施		12月	進捗報告	
9月	中間報告・中間評価		1月	プロジェクト実施	
			2月	最終報告会・ 最終評価	

機密保持や成果物の取り扱いなど

ご提案いただいた課題に取り組む学生は、機密保持や成果物に対する権利の取り扱いなどについての誓約書を提出します。その他必要なことがあれば、個別に相談・対応させていただきます。

お問い合わせ・お申し込み

プロジェクト演習に関するお問い合わせ、ならびに演習課題のご提案は、地域共創センターまでどうぞ。

sangaku-edu@m.hiroshima-cu.ac.jp



3つのひかり 未来をつくる
広島市立大学
Hiroshima City University

（作成日：2026年9月16日）